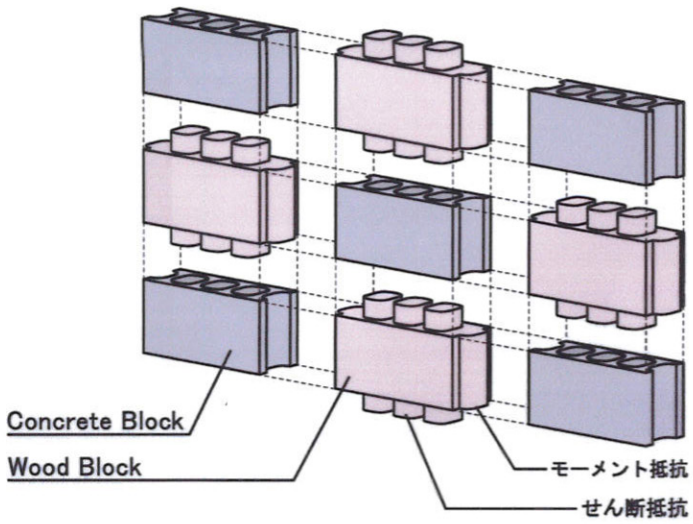
+αの空間

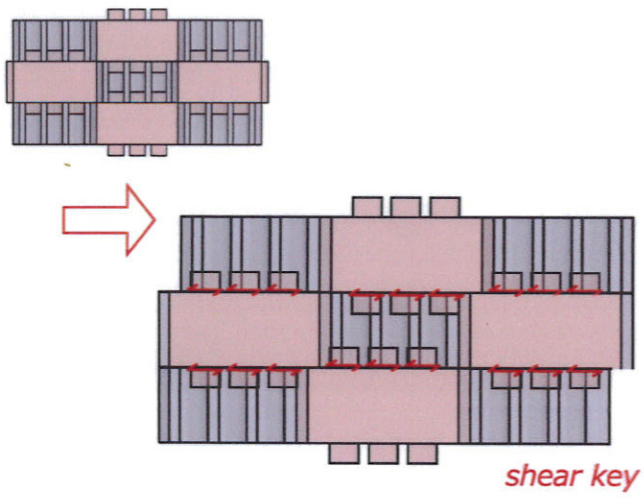
ガレージにプラスアルファのロフト空間を設け、家族や訪問客と気を使わずに過ごせる空間を計画した。壁式構造では空間同士が明確に区分されがちであることから、プライベート空間である家とは別に、半屋外空間となる部屋を計画した。気のおけない親しい客とはこのロフトでお茶を飲んだり話をすることでガレージがコミュニケーションやくつろぎの場として機能する。

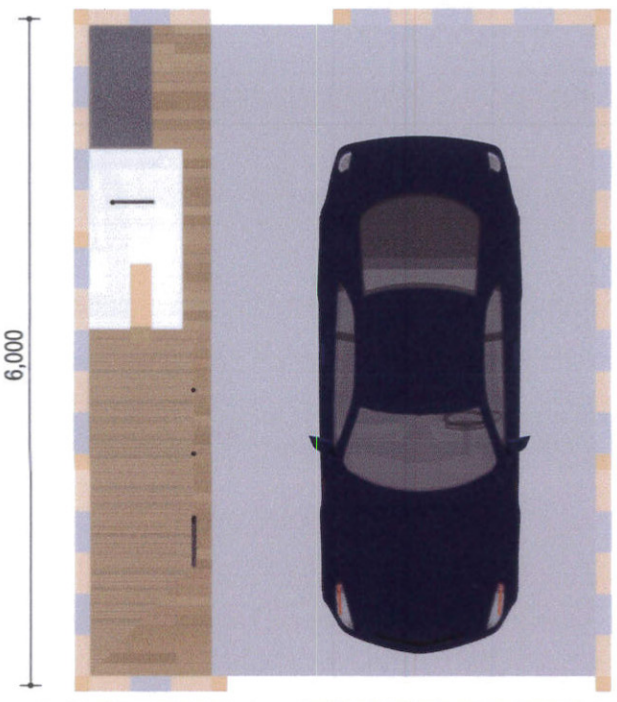


CB×WB

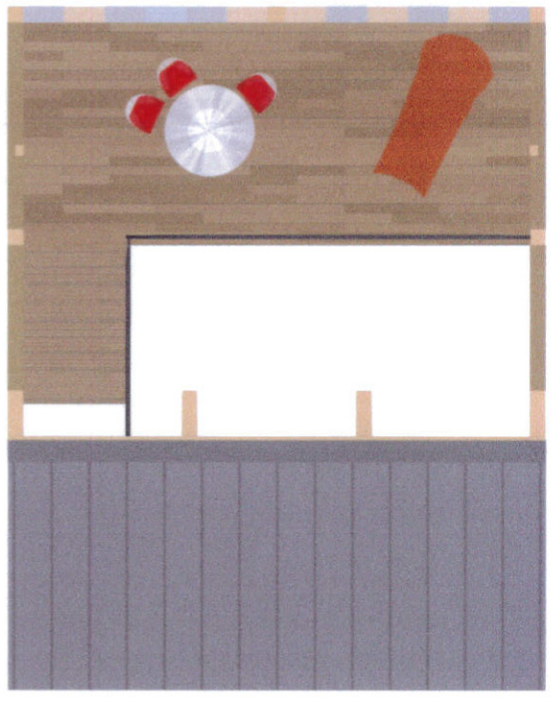
平成 22 年度 10 月の JIS 改正により建築用コンクリートブロックのエコセメント適用範囲拡大と再生骨材の仕様の明記が行われた。また、同年「公共建築物用における木材の利用の促進に関する法律」が施行されている。両方とも資源循環型社会を目指しての基準改正である。
CB×WB 造は、両素材を組み合わせ、コンクリートブロック造の環境へのインパクトの低減を目指した建築である。



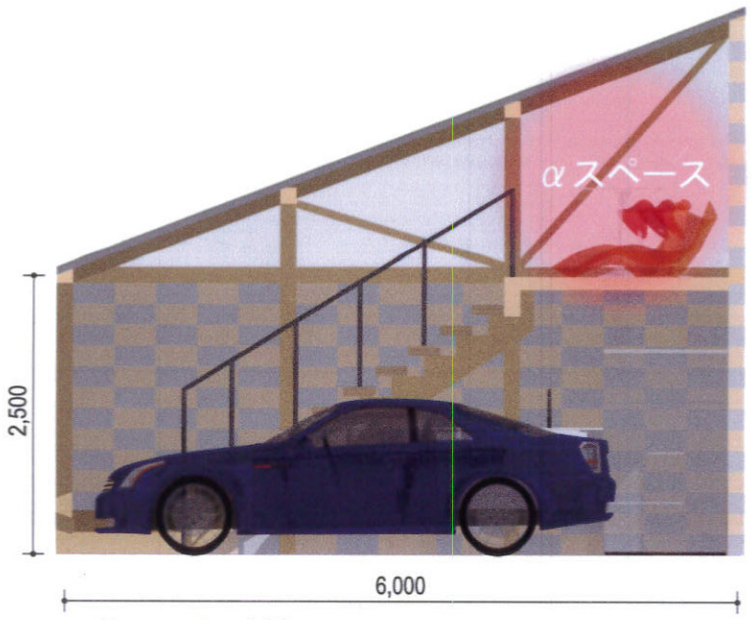




1F plan; scale: 1/50



2F plan; scale: 1/50



section; scale: 1/50



elevation; scale: 1/50